



上山田吹奏楽団 presents K.B.E. Live 2015

2015年7月5日 14時開演
千曲市上山田文化会館

1 s t ステージ

- 1. ダンシング・クイーン (作曲: B.Andersson/S.Andersson /B.Ulvaeus)**
スウェーデンのポップ・グループ、ABBA が 1976 年に放った大ヒットナンバー。
公式に初めて披露されたのは、1976 年 6 月 18 日に結婚したグスタフ 16 世の結婚披露宴の際。この模様はスウェーデン国営放送で放送されている
ミュージカル「MAMMA MIA!」でもお馴染みのこの名曲は、4 人のソフトなハーモニーが華やかなサウンドに映え渡る、説明不要の大傑作。
- 2. 川の流れのように (作曲: 見岳章)**
美空ひばりのラストシングルになったこの曲は、彼女の本葬の日に多くの歌手達によって献唱された。またこの曲は TBS 系 TV ドラマ、愛の劇場「あわが家」の主題歌としても流された。文字通り、美空ひばりの絶唱となった曲である。1989 年発表。作詞は秋元康。
- 3. TSUNAMI (作曲: 桑田佳祐)**
1970 年の終わり頃に「勝手にシンドバッド」を発表して以来、今日に至るまで日本の音楽界をリードしてきた「サザンオールスターズ」。あの「いとしのエリー」を語るまでもなく、サザンのバラードものは定評のあるところ。曲名が東日本大震災を連想させることから、一時期テレビ・ラジオ等では自粛されていた。
KBE は、あの記憶を忘れないために本作を演奏し、遠く離れた上山田から被害に遭われた方々へ思いを馳せたい。
- 4. 津軽海峡・冬景色 (作曲: 三木たかし)**
1977 年に発表され大ヒットとなった、作詞：阿久悠、作曲：三木たかしの名コンビによる石川さゆりの代表曲。石川さゆりの熱唱と歌唱力とともに、世代を越えて幅広い世代に愛され続けている。演歌という枠を超えて日本人の心を揺さぶるこの曲は現在でも大人気のナンバー。
- 5. 山本リンダメドレー (作曲: 都倉俊一)**
セクシーな大人の歌手にイメージチェンジし、ヒット歌手として脚光を浴びた山本は「アクション歌謡」の先駆けとなった。当時前例のなかったへそを出して歌う大胆な衣装、情熱的で激しいダンス、扇情的な歌詞の内容などが話題に。
1970 年代前半にヒットした、どうにもとまらない／狂わせたいの／狙いうちの 3 曲メドレー。

2 n d ステージ

- 1. リズムバトル～ファイト! (作曲: 押尾コータロー)**
— Bass / Guitar / Drums —
縁の下の力持ち「リズム部隊」ベース&ドラム×2 の変則的な構成のアドリブ合戦「リズムバトル」から、押尾コータローのアルバム「Be HAPPY」に収録されている「ファイト!」になだれ込む。管楽器無し、KBE リズム部隊 3 人だけの舞台をどうぞ。
- 2. ジーパン刑事のテーマ (作曲: 大野克夫)**
— Trumpet / Guitar / Bass / Keyboard / Drums —
往年の刑事ドラマ「太陽にほえろ!」。登場人物の一人、故松田優作演じる「柴田純」、愛称「ジーパン」のテーマ曲。軽快なトランペットのメロディが、ジーパン刑事の壮快感を彷彿とさせる。

3. Friday Night Fantasy (作曲: Pierre Porte)

— Trumpet / Guitar / Bass / Piano / Drums —

真っ赤な夕日の沈む海をバックに、それを眺める男のシルエットや海辺の建物。「金曜ロードショー」のテーマ曲。穏やかながらも情熱的なトランペットとピアノの旋律が非常に印象に残る曲。

4. Never Hide Your Face (作曲: 高水健司)

— Tenor-Saxophone / Guitar / Bass / Piano / Drums —

ギタリスト「渡辺香津美」率いる「KAZUMI BAND」の1981年発売のアルバム「TALK YOU ALL TIGHT (頭狂 奸児唐眼)」に収録されているバラード。

3rdステージ

1. Recardo Bossa Nova (作曲: Djalmá Ferreira)

原題は、「Recado」で、ポルトガル語で「贈り物」または「伝言」。英語題は、「Recado Bossa Nova」または、「The Gift」で、ジャズのスタンダード・ナンバーとしてもよく演奏される。1965年ごろにジャズの曲として流行りだし、世界中の聴衆から認知されるに至っている。

今回は、グラミー賞受賞者であり、ジャズ・フュージョン・ポップスと幅広い名アレンジでアメリカ音楽界に君臨する「David Matthews」の編曲で。

2. ジェームズボンドのテーマ (作曲: Monty Norman)

「ダブル・オー・セブン (Double O Seven)」のコードネームを持つ、「ジェームズ・ボンド」が活躍するスパイ映画のテーマ曲。前半部、ギターメインの静かなメロディから一転、管楽器の華やかで躍動感のある中盤部、事後の静けさを表現した終盤部と、全編を通して映画の内容を垣間見られる曲構成となっている。

テレビ・ラジオ等ではこの曲調を生かしたインサートがなされ、その世界観が確立されている。

3. コパカバーナ (作曲: Barry Manilow)

「コパカバーナ」といえば、ブラジル・リオデジャネイロ市にあるビーチが有名だが、この曲名が指すのはニューヨークのナイトクラブの名前。1978年に作曲者であるバリー・マニロウが歌い大ヒットした。いかにもラテン風のノリのいいナンバーだが、その陽気な曲風とは裏腹に、歌詞は悲しいラブストーリーになっている。そのギャップもまたこの曲を魅力的にしている要因であろう。

4. TAKE FIVE (作曲: Paul Desmond)

「ウェストコースト・ジャズ」を代表する曲と言える定番ジャズ。4分の5拍子という特徴的なリズムの曲で、タイトルの「Take Five」は「5拍子」と「(5分程度の)休憩をしよう」という、2つの意味が掛けられている。

5. この素晴らしき世界 (作曲: George Douglas / George David Weiss)

「サッチモ」の愛称でも知られるジャズ・トランペッター、ルイ・アームストロングの歌唱で1968年にヒットした曲。作曲者のジョージ・ダグラスは音楽プロデューサーであるボブ・シールのペンネーム。ボブはベトナム戦争を嘆き、平和な世界を夢見て、この曲を書いたという。近年テレビCM等でも良く耳にする名曲をどうぞ。

Personnel (K.B.E メンバー)

Saxophone

田島喜代子

足立 信夫

町田 祐介 (Special Thanks)

Electric Bass & Electric Guitar

箱山 宗浩

Drums & Per

今井 俊昭

Trumpet

宮下 秀仁 (& Bass)

若林 和明 (& Bass)

星野 和雄 (& MC)

Piano, Keyboard & Drums

水井 園枝

Trombone

鷲原 修

田島 英樹

